

こえに だして よみましょう。

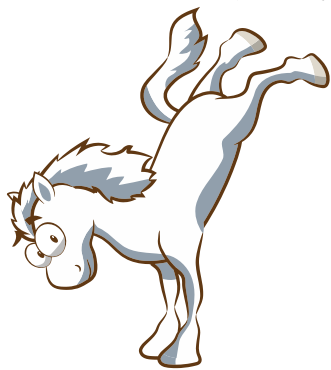
あし ②

にいみなんきち
新美南吉

「どうして。」

「ぼくの思うままに歩かないもの。ちよつとこのあしをけとばしてくれ。」

そこで、ともだちの馬は、ひづめでそのあしをぽおんとけとばしました。



「やっぱりこれはぼくのじゃない、いたくないもの。ぼくのあしならいたいたはずだ。よし、はやく、ぬすまれたあしをみつけてこよう。」

そこで、その馬はよろよろと歩いてゆきました。

「やア、椅子がある。椅子がぼくのあしをぬすんだのかもしれない。よし、けとばしてやろう、ぼくのあしならいたいたはずだ。」

馬はかたあしで、椅子のあしをけとばしました。